

早池峰地域（^{にぎりさわ}握沢地区^{かどま}門馬コース）の^{ぼうろくさく}防鹿柵（植生保護柵） 網下げ作業を行いました

岩手県宮古市 ^{かどま}門馬山国有林 323 と林小班外

令和6年5月から6月にかけて設置した防鹿柵（植生保護柵）が冬期間に破損しないようにするため、10月21日に当署職員16名が参加し、宮古市自然公園保護管理員にも同行いただき網下げ作業を行いました。

令和5年度より若干時期を遅らせての網下げ作業を計画したもののなかなか気温が下がらず、植物が青々とした状態ではシカの食害を受けてしまうため出直しとなる可能性もありましたが、1週間ほど前からようやく冷え込むようになり、予定どおりの実施となりました。

当日は好天にも恵まれ、作業も順調に進んだことから昼までに全ての防鹿柵設置箇所での作業を終えることができました。

設置していた防鹿柵の柵内の植物に食害は確認されなかったことから、来年はさらに株が増え、勢いを回復してくれるのではと期待を膨らませ現地を後にしました。



続いて、防鹿柵周辺に設置したセンサーカメラで撮影された画像をご紹介します。

約4か月にわたる設置期間を通して昼夜を問わずニホンジカの出没が確認され、依然として生息密度が高いことが伺えました。また、今回はクマの出没も確認されました（登山の際はじゅうぶんにご注意ください）。

今後も早池峰山周辺の希少植物を守っていくため、防鹿柵の効果を検証しながらニホンジカ対策を継続して参ります。

